



2023年

# またびや 通信 7月

## ■ 夏期講習期間は7月24日(月)から

平常授業で学校準拠カリキュラムを採用している小中学生のクラスも、夏期講習は本物の実力をつける期間です。今までの復習から新単元の予習も兼ねて、夏期講習でしかできないことをやっていきます。小5・小6古河中等受検コースは、きたるべき適性検査へむけた実力練成が目的です。中3は夏期講習で受験に必要な知識や解く技術を一度完成させます。9月以降は夏期講習で教わったことを訓練していく期間だと考えてください。中3生以外は「10日間」、中3生は「20日間」の夏期講習です。詳しい内容や時間割は、後日配布する夏期講習のパンフレットでご確認ください。

個別指導の夏期講習は、1教科から1コマ単位で受講できます。たとえば「仮定法をしっかり身につける」「三角関数を基礎から学ぶ」というような苦手教科・苦手部分だけの履修も可能です。この夏休みを、ぜひ弱点克服に活用しましょう。各教室から今後配布される「夏の集中授業計画」に必要事項を記入し、締切日までにご提出ください。

7月	行事など
17日	海の日。平常授業。
22日	中3ガイダンス。中3以外休講。
24日	夏期講習初日。

### お知らせ



- 今月は7月分のお月謝をお支払いください。夏期講習費は8月分になります。
- 7月22日(土)は中3ガイダンスを実施するため、中3生以外は休塾になります。

**I期 7月24日～7月28日 II期 7月31日～8月4日**

**Ⅲ期 8月7日・8日・8月16日～18日**

**Ⅳ期 8月21日～8月25日**

※中3生は、上記すべてが通塾日です。中3生以外は、いずれかの期で10日間の夏期講習になります。後日お配りする夏期講習パンフレットで詳しい日程・内容をご確認ください。

## ■ 中3ガイダンスは、7月22日(土)

中3ガイダンスは、受験勉強のやり方や志望校の選び方など、受験期に必要なことを説明するものです。毎年、まなびやの中3生はこの日から目の色が変わってきます。受験を自分自身のこととして意識していくからです。この日を境に本気の学習を始めていきましょう。時間帯については各教室からご案内いたします。なお、7月22日は、中3以外の学年は休講になります。

## ■ 個別家庭通信を発行します

個別を受講されている方に家庭通信を7月上旬に発行いたします。毎月の授業内容や日程、今後の授業方針なども載せて完全1対1の個別ならではの診断結果をご家庭にお送りします。ぜひご一読ください。なお、内容を充実させるため3か月以上ご受講なさっている方に送らせていただいております。

# TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS

茨城県立の2023年度(令和5年度)入試の平均点が発表されました。

国語	数学	英語	社会	理科	5科合計
69.94	48.05	50.82	63.87	57.29	289.98

注目は国語です。2022年度の国語は選択問題しか出さなかったのですが、2023年度は記述問題を出すという発表が教育委員会から出されました。しかし、一番多い字数の記述問題でも20字以内でした。そのため、難易度が低く、国語の平均点は 69.94 点でした。数学はやや難易度が下がったものの(2022年度は平均点が 46.55 点でした)、2023年度も5教科の中で一番難しい問題だったことがわかります。次の表は、過去の茨城県立入試の平均点を載せたものです。

年度	元号	国	数	英	社	理	5教科
2014	平成26年度	62.8	53.7	61.2	59.4	56.0	293.0
2015	平成27年度	69.9	55.4	55.2	53.4	56.1	290.0
2016	平成28年度	66.9	48.9	55.2	59.4	50.8	281.1
2017	平成29年度	63.6	54.1	52.4	65.1	53.8	289.0
2018	平成30年度	59.0	51.4	57.1	58.9	60.8	287.5
2019	令和元年	58.6	49.3	53.1	55.3	51.7	267.9
2020	令和2年度	59.2	52.4	56.2	57.4	58.9	284.2
2021	令和3年度	63.6	39.7	53.4	56.2	54.7	267.6
2022	令和4年度	78.1	46.6	50.3	61.5	49.9	286.2
2023	令和5年度	69.9	48.1	50.8	63.9	57.2	289.9

5教科の平均点に注目してみると、2019年度と2021年度だけ、260点台でかなり難しい入試でしたが、それ以外は280点台が多いです。2023年度も 289.98 点で、昨年度よりも平均点が上がっています。茨城県立の入試は、平均点の高い教科を取りこぼさないことが大切です。